

2026 年度

特別入学試験要項

帰国生対象
在日外国人学校出身者対象
留学生対象

学芸学部



津田塾大学
TSUDA UNIVERSITY

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

津田塾大学が求める学生および津田塾大学の理念

津田塾大学は、深い知性と豊かな人間性を兼ね備え、自立して社会に貢献できる「オールラウンドな女性」の育成を目指しています。創立以来、幅広く確かな教養に裏打ちされた知見と実践力をもって、リーダーシップを発揮できる女性を輩出してきました。本学では、このような建学の理念に共感し、世界のさまざまな問題に関心をもち、主体的に学ぼうとするバイタリティ溢れる学生を求めています。

学芸学部

学芸学部が求めているのは、さまざまな問題に取り組むために必要な知識と思考力をもち、自分の考えを自分の言葉で的確に表現できる創造性に富む学生です。

学芸学部では、人間としてより自由に生きるための学問、学生一人ひとりの個性と自主性の尊重をその教育理念の根幹に据えています。男女共同参画が求められる時代において、多様でグローバルな課題に対してイニシアティブを発揮しつつ、地域社会と国際社会の双方で貢献できる女性を求めます。

英語英文学科

英語英文学科では、高度な英語力を修得し、幅広い学識と専門性をもって地域社会と国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。世界の多様な諸相を「英語で学ぶ」ことを基盤に、総合的な英語の運用能力の向上を目的とした英語教育ならびに専門領域におけるテキスト分析や論理的思考、表現力の鍛錬を通して、深い専門性、思考力、教養を培います。言葉の力に優れ、広い視野に立った世界への関心と、社会に貢献する意欲をもつ学生を求めています。

<知識・理解>

広く世界の様相を理解していくために日英語のテキストを広く深く読む力とともに、主として英語圏の言語・文化・社会などについて総合的に探求するために、地理、歴史や現代社会に関する幅広い知識が必要です。とりわけ「世界史」と「日本史」の学習は重要です。さらに、論理的な考察力を培うために、「数学」などの基礎的知識ならびに理解力を身につけていることが望まれます。

<技能・表現>

英語英文学科におけるリベラル・アーツ教育の基本となるのは、日本語でも英語でも自分の考えを論理的に構築し、それを的確に表現する力です。文章を読み解き、自分の考えを的確に表すことができるための「国語」の力は必須です。加えて、読む、書く、話す、聞く力や、語彙力、文法力など、総合的な英語能力が重視されます。

<関心・意欲・態度>

多様な言語や文化の問題に関心を深め、異なる価値観を理解し受容する柔軟な態度と、読書などを通して幅広い教養とともに専門知識を積極的に追求し、学ぼうとする意欲が期待されます。また、授業に向けて主体的に取り組み、自らリサーチし、発表や議論に積極的に参加する姿勢が求められます。

<思考・判断>

世界の多様な様相を理解し、言語・文化・社会などにおけるさまざまな問題を見出し、それに関して集めた情報を整理して、自分の考えを導き出す思考力が求められます。さらに、目的や状況等に応じて互いの考えを伝えあい、多様な考えを理解し、他者との関わりの中で主体的に判断することが期待されます。

国際関係学科

国際関係学科では、英語および第二外国語の修得に裏付けられた広い知識をもとに、国際的に活躍できる人材の育成を目指しています。現代世界の諸事象に深い関心を持ち、問題点を見つけ出す能力、さまざまな情報を自分なりの観点によって整理し統合していく力、問題を多角的に考察し、その結果を自分の言葉で説明できる表現力や対話の力を培うことを重視しており、そのような力を伸ばしたい学生を求めています。

<知識・理解>

歴史的な視野に立って考察する姿勢を身につけるために「世界史」、「日本史」、あるいは論理的な考察力をつけるために「数学」などの十分な理解が重要となります。

<技能・表現>

文章を読み解き、自分の考えを的確に表すことができるための「国語」の力は必須です。入学後の伝統と実績ある、レベルの高い英語教育を受講するためにも高等学校で学ぶ「英語」がしっかりと身につけていることが求められます。

<関心・意欲・態度>

広く国内外の事象に興味を持ち、異なる文化、背景にも広く開かれた態度をもつこと、新聞や本を日常的に読み深く思考する習慣をもつこと、さまざまな人と接し、豊かな体験をしていること、などが重要です。

<思考・判断>

柔軟な思考力、深く物事を考えようとする力、判断に必要な材料を的確に探索し、主体的に判断しようとする力が求められます。

多文化・国際協力学科

多文化・国際協力学科では、新しい局面を迎えた国内外のさまざまな問題に対し、現状分析を踏まえ、当事者意識と強い責任感をもった「真の貢献」ができる女性の育成を目指しています。社会構造や文化の違いが引き起こしている問題、国際協力・国際援助が抱える問題等、現代社会において解決すべき問題は多種多様です。これらの問題に対し、1年次の基礎セミナーを経て、2年次からのフィールドワークや密度の濃い3年間のセミナー活動をとおして培われた高度の専門知識と分析力を駆使しながら、よりよい「共生型」社会の実現に向けての新しいアプローチを提案できるようになることを重視し、そのような力を伸ばしたい学生を求めています。

<知識・理解>

世界の現場で起きていることの理解の基礎となる「世界史」、歴史を踏まえたフィールド理解のための「日本史」、論理的な力をつけるための「数学」などの十分な理解が重要となります。

<技能・表現>

様々な問題に対処するために、的確にそして深く読み、自らの言葉で書き、表現し、対話するために「国語」の力は必須です。津田塾の伝統ある高レベルの英語教育を受けていくためには、高校までにしっかり基礎の「英語」力をつけておくことが重要です。

<関心・意欲・態度>

「それぞれの場でどのようにあるべきか」という当事者意識と責任感の強さを持ち、変革を担うことに意欲があること、本を読む習慣が身についていること、深く思考する態度、異なる経験への開かれた態度などが望まれます。

<思考・判断>

現代社会に創起するさまざまな問題、日々の共同生活における多くの課題、それらに対処するための判断は、的確で、早くなされる必要があることが多いでしょう。その場その場の判断が的確であるために、鍛えられるべきは、平素からの深く考える習慣と、自らの心身の状態の客観的な観察です。多文化・国際協力学科では、この的確な判断と深い思考を目指す人を求めます。

数学科

(一般選抜、学校推薦型選抜、特別入試、社会人)

数学科では数学を通して「ものの見方・考え方」を身につけ、豊かな判断力を備えた人を育てることを目標としており、高等学校で学習すべき数学に対する基本的な理解力、計算力、応用力、そして語学力をもった熱意ある人を求めています。

<知識・理解>

高等学校の「数学」の内容を理解していることが必要です。

<技能・表現>

学修を効率的に進めるために、コンピュータの基本操作に慣れていること、十分な日本語能力と論理的思考力が必要です。専門書の理解のために高等学校の「英語」を十分に習得していることも求められます。

<関心・意欲・態度>

人権・人格を尊重し、リーダーシップをもって、さまざまな背景の人たちと協調し合う国際性をもつことが望まれます。また、さまざまな現象に内在する数学的な構造に興味をもち続けることが望まれます。

<思考・判断>

基本的な定義や公式の導き方を理解し、問題に応じて適切に解答できる思考力、判断力が求められます。

情報科学科

情報科学科では、津田塾大学の建学の精神に沿って、情報科学の学修と研究に取り組みたいと考える学生を求めます。大学で情報科学を学ぶためには、高等学校において「英語」と「数学」の基礎学力を確実に身につけておくことが望まれます。「英語」は情報通信技術の発展によりグローバル化が進む現代では世界の共通言語としてますます重要になっています。「数学」はその知識が直接情報科学に役立つだけでなく、数学的・論理的なものの考え方自体が情報科学全体にとって非常に重要です。どちらもが入学試験において重視されます。また、大学は「ともに学び合う場」でもあります。お互いの価値観を尊重し合い、研鑽する精神を尊ぶ学生を歓迎します。

<知識・理解>

「数学」と「英語」を重視した入学試験を実施します。「数学」については、高等学校の数学の内容を十分に理解していることが望まれます。「英語」については、高等学校卒業までの範囲において、読む、書く、話す、聞く、の基礎的な能力を身につけていることが望まれます。

<技能・表現>

授業における発表・議論やレポートの作成を行うことができる日本語能力が求められます。

<関心・意欲・態度>

グローバル化する高度情報化社会に貢献できる情報科学のプロフェッショナルとなるために、以下の2点を備えていることが求められます。

1. コンピュータなどのテクノロジーそのものやその応用への興味
2. 多様な人々と良好な関係を構築し、協働できるコミュニケーション能力

<思考・判断>

問題を論理的に考え、解決を図ろうとする思考力・判断力が求められます。

入試日程

出願期間	2025 年 9 月 1 日(月)～ 9 月 10 日(水) (必着)	入学検定料を振り込み、出願書類を郵送してください。提出書類による選考を行います。
第 1 次選考(書類選考) 結果発表	2025 年 10 月 3 日(金)	郵送で通知します。
第 2 次選考試験日	2025 年 10 月 25 日(土)	試験会場は本学(小平キャンパス)です。
合格発表日	2025 年 11 月 5 日(水)	郵送(速達)で通知します。合格者には入学手続書類を同封します。
入学手続締切日	2025 年 11 月 21 日(金) (消印有効)	締切日までに入学申込金(入学金相当額)、学費その他の納入金を納入し、入学手続書類を提出してください。

学科及び募集人員

英語英文学科：若干名
国際関係学科： 5 名（帰国生・在日外国人学校出身者・留学生を合わせた募集人員）
多文化・国際協力量科：若干名
数 学 科：若干名
情報科学科：若干名

出願資格

〈帰国生〉

日本に居住し、または日本に帰国する女子で、以下の各要件のいずれかを満たし、かつ日本語による授業を理解する能力を有する者

1. 海外の高等学校の卒業生または卒業見込み者
外国における学校教育の 12 年の通常の課程を修了した者（修了後本学入学時までの期間が 2 年未満であること）及び修了見込みの者。ただし、最終学年を含み継続して 2 学年以上外国の学校*に在籍していなければならない。
（*国際関係学科、多文化・国際協力量科を受験する場合は、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校は外国の学校とはみなさない。）
2. 日本の高等学校の卒業生または卒業見込み者
中・高等学校を通じ継続して 2 年以上外国で教育を受け*、2024 年 5 月 1 日以降に外国の学校より転入学し、日本の高等学校を卒業した者及び 2026 年 3 月卒業見込みの者
（*国際関係学科、多文化・国際協力量科を受験する場合は、日本の高等学校に転入学する直前の 2 年以上、外国の教育課程に基づく学校に在籍していることが必要です。）
3. 上記 1、2 と同等以上の資格を持つと本学が認定する者で、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

〈在日外国人学校出身者〉

日本に居住する外国籍を有する女子で、日本における外国人向け教育機関における学校教育の 12 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月修了見込みの者で、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

〈留学生〉

留学の目的で日本に入国する女子、または海外に居住し、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学したことがない女子で、以下の 1 及び 2 に該当する者

1. 出身国または留学先での学校教育の 12 年の通常の課程を修了した者及び 2026 年 3 月修了見込みの者、またはこれと同等以上の資格を持つと本学が認定する者で、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者
2. 各学科指定の以下の試験を受験した者

*日本語能力試験の受験者は成績証明書の写しを提出してください。

*日本留学試験の受験者は日本留学試験受験番号を必ず志願票に記入してください。

*日本留学試験は、2023 年 11 月、2024 年 6 月、2024 年 11 月、2025 年 6 月に実施された試験のみ有効です。

学科	試験
英語英文学科	①及び②の両方 ①日本語能力試験 N2 以上 ②日本留学試験の「総合科目」 （出題言語は日本語または英語）
国際関係学科	日本留学試験の「日本語」及び「総合科目」 （出題言語は日本語）
多文化・国際協力量科	①または②のいずれか ①日本語能力試験 N2 以上 ②日本留学試験の「日本語」及び「総合科目」 （出題言語は日本語）

数学科	<u>①及び②の両方</u> ①日本語能力試験N2以上 ②日本留学試験の「数学（コース2）」 （出題言語は日本語または英語）
情報科学科	<u>①及び②の両方</u> ①日本語能力試験N2以上 ②日本留学試験の「数学（コース2）」 （出題言語は日本語または英語）

<日本語能力試験についての問合せ先>

日本国際教育支援協会 日本語能力試験受付センター TEL. 03-6686-2974

<日本留学試験についての問合せ先>

日本学生支援機構 日本留学試験受付センター TEL. 0570-55-0585

【第1次選考（書類選考）】

出願期間

2025年9月1日(月)～9月10日(水)（必着）

受験上特別な配慮が必要な場合について

受験に際し、病気・負傷や障害等のために、配慮を希望する場合は、出願期間の前にできるだけ早く本学入試課に連絡してください。（ご希望の全てに対応できるとは限りませんので、ご了承ください。）

出願方法

出願書類の本学所定用紙を本学公式 Web サイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) からダウンロードし、すべてA4サイズで片面印刷してください。

ダウンロードができない場合は、本学入試課(Tel. 042-342-5120)に連絡してください。

【出願封筒表紙】をA4用紙にカラー印刷したものを市販の角形2号封筒に貼付のうえ、出願書類をすべて入れ、「簡易書留・速達」で郵送してください。出願書類以外のものは、同封しないでください。提出は郵送に限ります。大学窓口での受付は行いません。

出願書類

- ・出願書類は黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。
- ・出願書類はすべて紙媒体で発行された原本を提出してください。（日本語能力試験の成績証明書は除く。）原本と指定されている出願書類を写しで提出することを希望する場合には、出願前に本学にて原本証明を受ける必要があります。原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。
- ・出願書類のうち日本語、英語以外の言語で記載されたものは公的機関（高等学校、大使館等）の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。日本語学校による翻訳の証明は認めません。
- ・一度提出された書類は返却しません。

<帰国生>

帰国生の出願書類は出願資格によって異なります。注意してください。

※以下の書類のうち、期限内に提出できないものがある場合には事前に本学入試課へ相談してください。

①志願票 【様式 1】 ※2 枚	・志願票に記入された住所に、受験票や合否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。（日本国内の住所に限ります。） ・志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
②最終学年を含む高等学校 3年間の成績を示すもの ★成績証明書に在籍期間（年月） が明記されていることを確認し てください。 ★在籍期間（年月）が明記されて いない、または記載されている ことが確認できない場合は、在 籍期間証明書をあわせて提出し てください。	出願資格により異なりますので、以下をよく確認してください。 <出願資格 1 の場合> (1)最終学年を含む高等学校 3 年間の成績証明書 (2)卒業あるいは修了（見込み）証明書 <出願資格 2 の場合> (1)出身高等学校の調査書（最終学年を含む高等学校 3 年間の成績） <出願資格 3 の場合> (1)最終学年を含む高等学校 3 年間の成績証明書 (2)出願資格 1、2 と同等以上の資格を証明する資料
③高等学校関係者の推薦書 【様式 2】	1 通（本学所定用紙。別用紙でも可。ただし、他大学の書式は使用しないでください。）
④英語の能力を証明する書類	p. 9 の表「※英語の能力を証明する書類について」を参照し、いずれか 1 つ以上を提出してください。
⑤受験票・写真票【様式 3】	・縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ・銀行の収納印が押されていることを確認してください。 ※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可。
⑥志望理由書 【様式 4】	出願する学科の志望動機について 1200 字以内で書いてください。 ※手書き、PC（パーソナルコンピュータ）等使用のいずれでも可。 PC 等を使用する場合、ページ設定は 1 行 40 字×30 行、字の大きさ 12 ポイント前後とし、A4 判 1 枚に出力のこと。
⑦出願書類チェックリスト 【様式 5】	提出する書類等の提出チェック欄に○印をつけて提出してください。

<在日外国人学校出身者>

①志願票 【様式 1】 ※2 枚	・志願票に記入された住所に、受験票や合否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。（日本国内の住所に限ります。） ・志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
②最終学年を含む高等学校 3 年間の成績証明書	
③卒業あるいは修了（見込み）証明書またはそれに代わるもの	
④高等学校関係者の推薦書 【様式 2】	1 通（本学所定用紙。別用紙でも可。ただし、他大学の書式は使用しないでください。）
⑤英語の能力を証明する書類	p. 9 の表「※英語の能力を証明する書類について」を参照し、いずれか 1 つ以上を提出してください。

⑥受験票・写真票【様式 3】	・縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ・銀行の収納印が押されていることを確認してください。 ※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可。
⑦志望理由書【様式 4】	出願する学科の志望動機について 1200 字以内で書いてください。 ※手書き、PC（パーソナルコンピュータ）等使用のいずれでも可。 PC 等を使用する場合、ページ設定は 1 行 40 字×30 行、字の大きさ 12 ポイント前後とし、A4 判 1 枚に出力のこと。
⑧出願書類チェックリスト【様式 5】	提出する書類等の提出チェック欄に○印をつけて提出してください。

<留学生>

①志願票 【様式 1】 ※2 枚	・志願票に記入された住所に、受験票や可否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。（日本国内の住所に限ります。） ・志願票に記入する E-mail アドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jp を受信可能なドメインとして設定してください。
②出身高等学校の成績証明書	在籍中のすべての成績を含むもの 途中で転校している場合は、在籍したすべての高等学校の成績証明書を提出してください。
③出身高等学校の卒業証明書または卒業見込証明書	短期大学、大学等を卒業している場合は、短期大学、大学等の卒業証明書もあわせて提出してください。
④出身高等学校の教科・課程を説明する資料（学校要覧等）	
⑤出身高等学校関係者の推薦書【様式 2】	1 通（本学所定用紙。別用紙でも可。ただし、他大学の書式は使用しないでください。）
⑥英語の能力を証明する書類	p. 9 の表「※英語の能力を証明する書類について」を参照し、いずれか 1 つ以上を提出してください。
⑦受験票・写真票【様式 3】	・縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ・銀行の収納印が押されていることを確認してください。 ※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可。
⑧志望理由書【様式 4】	出願する学科の志望動機について 1200 字以内で書いてください。 ※手書き、PC（パーソナルコンピュータ）等使用のいずれでも可。 PC 等を使用する場合、ページ設定は 1 行 40 字×30 行、字の大きさ 12 ポイント前後とし、A4 判 1 枚に出力のこと。
⑨日本語能力試験の成績証明書の写し	英語英文学科、数学科、情報科学科に出願される方は、必ず提出してください。 多文化・国際協力学科に出願される方は、日本語能力試験を受験した場合のみ提出してください。
⑩出身小学校・中学校の在籍期間を証明する書類 ※日本国籍を有している者のみ	※途中で転校している場合は、在籍したすべての学校の在籍期間を証明する書類を提出してください。
⑪パスポートのコピー	A4 判の用紙にパスポートの身分事項（氏名、生年月日、顔写真、国籍、パスポートの有効期限）のページをコピーしてください。 二重国籍者は両国のパスポートのコピーを提出してください。
⑫出願書類チェックリスト【様式 5】	提出する書類等の提出チェック欄に○印をつけて提出してください。

※英語の能力を証明する書類について

以下の表を確認のうえ、所定の書類を提出してください。

なお、実用英語技能検定（英検）以外の試験においては、2023年4月1日以降に受験したもののみ有効です。実施機関から本学に直送する場合は、十分に余裕をもって手続をしてください。

原本の写しの提出を希望する場合は、出願前に本学入試課窓口に原本を提示してください。

試験名称	提出書類と提出方法
TOEFL iBT (*1)	以下のいずれかの方法で成績証明書原本を提出してください。 ・成績証明書をテスト機関から直接本学入試課に送付 (TOEFLの大学コード 0371) ・成績証明書原本を出願書類に同封
TOEIC (L&R および S&W) (*2)	公式認定証原本を出願書類に同封してください。
IELTS (*3)	以下のいずれかの方法で成績証明書原本を提出してください。 ・成績証明書をテスト機関から直接本学入試課に送付 ・成績証明書原本を出願書類に同封
GTEC (*4)	成績証明書原本を出願書類に同封してください。
TEAP (4 技能) TEAP CBT	成績証明書原本を出願書類に同封してください。
実用英語技能検定 (英検) (*5)	合格証明書原本、合格証書原本、CSE スコア証明書原本、個人成績表原本のいずれか (4 技能の CSE スコアが表示されたもの) を出願書類に同封してください。

(*1) TOEFL iBT は Test Date スコアのみを活用します。MyBest スコアは活用しません。

TOEFL iBT Home Edition を含みます。

(*2) TOEIC については、「TOEIC Listening & Reading Test」および「TOEIC Speaking & Writing Tests」両テストのスコア (4 技能) を必須とします。TOEIC IP は利用不可。

(*3) Academic Module に限ります。コンピューター版を含みます。

(*4) CBT タイプおよび検定版に限ります。

(*5) CBT、S-CBT、S-Interview を含みます。

入学検定料

35,000 円

振込用紙（本学所定用紙）に必要事項を記入し銀行窓口より「電信扱」で振り込んでください。

※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可。

※出願期間の前に入学検定料の振り込みを行っていただいても構いません。

いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、以下の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

入学検定料返還について

以下の 1. 入学検定料返還請求事由のいずれかに該当し、かつ 2. 手続方法により請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。

1. 入学検定料返還請求事由

(1) 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。

(2) 入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。

2. 手続方法

返還を希望する場合は、本学入試課 (Tel. 042-342-5120) に連絡してください。入学検定料返還申請書を送付しますので、以下の書類を2025年11月21日(金) (郵送必着) までに本学入試課宛に簡易書留で送付してください。

(1) 入学検定料返還申請書 (所定用紙に必要事項を記入)

(2) 入学検定料振込領収書のコピー

3. 返還時期
2025年12月末（予定）

被災した志願者に対する入学検定料免除について

津田塾大学では、被災地の志願者に対して進学のお機会をできる限り保障するため、被災の状況により入学検定料の免除措置をとることがあります。
入学検定料の免除措置を決定した場合には、本学公式Webサイト(<https://www.tsuda.ac.jp/>)を通じてお知らせしますので、確認してください。

選考方法

提出された書類をもとに、審査を行います。

第1次選考結果発表

2025年10月3日(金)

第1次選考結果は郵送で通知します。合格者には、受験票を同封します。

【第2次選考（学力試験及び面接）】

選考方法

学力試験、面接、提出書類による総合判定

試験日

2025年10月25日(土)

試験会場

本学（小平キャンパス）

1. 試験会場案内図を当日正門脇の守衛所で受取ってください。
2. 試験日以前に試験会場の下見をすることはできません。ただし、建物内を除く敷地内の見学は可能です。

試験科目・時間割・科目内容

〈帰国生・在日外国人学校出身者〉

英語英文学科	9:00～10:00（60分）	11:00～
	日本語（小論文）	面接（英語による質疑応答を含む）
国際関係学科	9:00～10:00（60分）	10:50～
	日本語（小論文）	面接
多文化・国際協力学科	9:00～10:00（60分）	10:50～
	現代世界に関する小論文	面接

数 学 科	9:00～11:00 (120 分)	12:00～
	数学 ※1	面接
情 報 科 学 科	9:00～10:30 (90 分)	11:30～
	数学 ※1	面接

※1 数学の出題範囲：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）

〈留学生〉

英語英文学科	9:00～10:00（60分）	11:30～	
	日本語（小論文）	面接（英語による質疑応答を含む）	

国際関係学科	9:00～10:00（60分）	10:50～	
	日本語（小論文）	面接	

多文化・国際協力 学科	9:00～10:00（60分）	10:50～	
	現代世界に関する小論文	面接	

数 学 科	12:00～		
	面接		

情 報 科 学 科	9:00～10:30（90分）	10:50～11:30（40分）	12:30～
	数学	小論文（日本語または英語）	面接

受験上の注意事項

1. 受験票は試験中必ず携帯し、試験室では常に机の右上に置いてください。
2. 受験者は試験開始時刻の 20 分前までに所定の試験室に入室、着席してください。受験者の入室開始時刻は最初の試験開始時刻の 1 時間前です。
3. 遅刻が 30 分を超えた場合には受験できません。
4. 受験票を紛失した場合は、試験当日「身分証明書（生徒証、学生証、保険証等）」を持参して、試験本部に申し出てください。
5. 試験室内では、持ち物は下記の「試験時間中に使用できる物品」を除き、すべて指定された場所に置いてください。また、携帯電話等は電源を切り、カバンの中にしまってください。携帯電話を時計として使用することはできません。（試験室内に時計はありませんので、必要な方は腕時計を持参してください。）
6. 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもうことがあります。
7. 昼食が必要な場合は、各自持参してください。（食堂の営業はありません。）
8. 試験開始から試験終了までは退室を認めません。試験時間中の発病またはトイレ等、やむを得ない場合は、監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、試験時間の延長は認められません。
9. 付添の方の控室は設置しておりません。また構内にも入れません。なお、試験会場への車での入構は

できません。試験会場周辺の交通の妨げとなりますので、車での送迎もご遠慮ください。

10. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対策に関する注意事項は、状況に応じて本学公式 Web サイトにてお知らせします。<https://www.tsuda.ac.jp/>

＜筆記試験時間中に使用できる物品＞

以下は「筆記試験時間中に使用できる物品」です。机上に置いておかまいません。なお、筆記用具、時計等の貸出しは行いません。

物品	備考
鉛筆・シャープペンシル	H B または B。一般の商品名以外の英単語、漢字などが印刷されているものは認めません。
消しゴム	
時計	計算機・辞書・端末機能を備えた時計の使用は禁止します。また、それらの機能の有無が判別しづらいものも使用できません。 試験室内に時計はありませんので、必要な人は腕時計を持参してください。
ハンカチ	文字や地図等がプリントされているものは認めません。
目薬	
ティッシュペーパー	袋または箱から取り出したもの
マスク	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。写真照合の際は一旦マスクを外していただく場合があります。
眼鏡	

＜試験時間中に使用できない物品＞

上記の「試験時間中に使用できる物品」以外は使用できません。使用した場合や机上に置いている場合は、不正行為とみなされる場合があります。以下は「試験時間中に使用できない物品」の例です。

携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの端末機能のある機器（時計として使用することはできません。電源を切り、カバンの中にしまってください。）、鉛筆削り、定規、コンパス、下敷き、色鉛筆、電卓等

入学試験実施に際しての対応について

入学試験の実施に際し、以下のような対応をとる場合がありますので、予めご了承ください。

1. 受験環境について

できる限り、公平で静ひつな受験環境の確保に努めますが、やむを得ず、以下のような対応をとることがあります。

- ① 生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音等）に対して、特別な対応はしません。

《生活騒音の例》

- ・ 風音、雨音、雷鳴
- ・ 航空機、自動車、バイク、鉄道の騒音
- ・ 通過する緊急車両のサイレン
- ・ 工事の音
- ・ 廃品回収や物売りの類、およびイベント・選挙等のアナウンス
- ・ 動物の鳴き声
- ・ 空調や照明等、試験会場となる施設が通常発する音

・ 他の受験者の発する音（咳、くしゃみ、ためいき、涙をすする音、筆記具を使用する際の音等）

- ② 試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のカバンなどが特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督者が試験室外に持ち出し、入試本部で保管することがあります。
- ③ 試験室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮いたしません。
- ④ 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。
- ⑤ 隣席の受験者がトイレに行く場合や、体調不良による入退室等、試験実施上やむを得ないと判断した場合には、試験監督者の指示により、席を立っていただくことがあります。またその場合でも、

試験時間の延長はいたしません。

⑥ 他の受験者に迷惑と判断される行為がある場合は、不正行為とみなすことや別室受験を指示するなどの措置を講じることがあります。

2. 不可抗力による事故等について

大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、新型インフルエンザを含む感染症、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験者負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

3. 受験者への連絡について

上記2. の措置をとる場合の受験者への連絡は、基本的に本学公式Webサイト上で行います。

<https://www.tsuda.ac.jp/>

4. 感染症について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や試験監督者等への感染の恐れがありますので、受験をお断りすることがあります。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をお断りした場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしません。

5. その他の注意

不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

不正行為について

受験の際には、すべて監督者等の指示に従ってください。以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

- 1) 出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合
- 2) 受験者以外の者が、受験者本人になりすまして試験を受けた場合

また、以下の行為をすると、不正行為とみなされる場合があります。

- ・カンニング（カンニングペーパーや参考書、他の受験者の答案を見ること、他の受験者から答えを教わること等）
- ・使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
- ・試験開始の合図の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- ・試験終了の合図の後に筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けること。
- ・試験時間中に、他の受験者に答えを教えるなど、他の受験者を利するような行為をすること。
- ・試験時間中に、他の受験者に迷惑となる行為をすること。
- ・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ウェアラブル端末（腕時計型等）を身につけたり、作動させたりすること。
- ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験実施中に不正行為と思われる行為が認められた場合、監督者等が注意し、試験の中止や退室を指示することがあります。不正行為の疑いに対処した時間があっても、その受験者は、試験時間の延長を求めることはできません。

不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返還しません。

合格発表

2025年11月5日(水)

可否結果は郵送（速達）で通知します。合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

合格発表日当日に届くように発送しますが、到着が翌日になる場合もあります。なお、可否に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続

2025 年 11 月 21 日(金) (消印有効)

上記期日までに「入学申込金 (入学金相当額)」及び「学費その他の納入金」を振り込み、入学手続書類を郵送してください。

入学手続に関する注意事項

1. 入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。
2. 2026 年 3 月 31 日(火) (郵送必着) までに入学辞退の申し出があった場合には、納入された入学申込金以外の学費 (授業料・施設設備費) ・その他の納入金を返還します。

入学前教育について (多文化・国際協力量科、数学科のみ)

合格者には入学前課題等を用意しています。詳細は、合格者にご案内いたします。

学費・その他の納入金 (予定)

2026 年度入学者の入学金・学費(授業料・施設設備費)・その他の納入金は 10 月初旬に決定します。

〔学芸学部〕

(単位: 円)

学 科	入学手続時納入		10 月中納入	初年度合計
英語英文学科 国際関係学科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 412,500	後期 412,500	825,000
	施 設 設 備 費	前期 137,500	後期 137,500	275,000
	計	750,000	550,000	1,300,000
多文化・国際協力量科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 440,000	後期 440,000	880,000
	施 設 設 備 費	前期 154,000	後期 154,000	308,000
	計	794,000	594,000	1,388,000
数 学 科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 486,000	後期 486,000	972,000
	施 設 設 備 費	前期 164,000	後期 164,000	328,000
	計	850,000	650,000	1,500,000
情 報 科 学 科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 490,000	後期 490,000	980,000
	施 設 設 備 費	前期 165,500	後期 165,500	331,000
	計	855,500	655,500	1,511,000

*次年度以降の学費 (授業料・施設設備費) については次のとおりです。

授業料は次年度から毎年度 10,000 円増の漸増方式を適用します。

英語英文学科、国際関係学科	2027 年度	835,000 円	2028 年度	845,000 円	2029 年度	855,000 円
多文化・国際協力量科	2027 年度	890,000 円	2028 年度	900,000 円	2029 年度	910,000 円
数学科	2027 年度	982,000 円	2028 年度	992,000 円	2029 年度	1,002,000 円
情報科学科	2027 年度	990,000 円	2028 年度	1,000,000 円	2029 年度	1,010,000 円

施設設備費は次年度から毎年度 3,000 円増の漸増方式を適用します。

英語英文学科、国際関係学科	2027 年度	278,000 円	2028 年度	281,000 円	2029 年度	284,000 円
---------------	---------	-----------	---------	-----------	---------	-----------

多文化・国際協力量科	2027 年度	311,000 円	2028 年度	314,000 円	2029 年度	317,000 円
数学科	2027 年度	331,000 円	2028 年度	334,000 円	2029 年度	337,000 円
情報科学科	2027 年度	334,000 円	2028 年度	337,000 円	2029 年度	340,000 円

*原則として、入学時に学修のためのノートパソコンが必要となります。指定された要件を満たすノートパソコンを各自でご用意ください。詳細は、合格者へお送りする入学手続要項でお知らせします。

その他の納入金について

①学生教育研究災害傷害保険

「学生教育研究災害傷害保険」（賠償責任保険付）は初年度のみ納入し、保険料は4年間を通じて4,010円です。校内や通学、また課外活動中の怪我、教育実習、正課のインターンシップやフィールドワーク中の賠償責任を補償範囲としており、全員加入を実施しています。なお、任意保険として「学研交付帯学生生活総合保険」もあります。

②一般社団法人津田塾大学同窓会費積立金

「津田塾大学同窓会費積立金」は50,000円（終身会費）です。初年度のみ納入し、その利子は奨学金として運用されています。

＜③～⑥は、該当者のみ入学後にかかる費用となります。＞

③教育職員免許状取得を希望する場合（英語英文学科、国際関係学科、数学科、情報科学科の学生のみ対象）

介護等体験費用11,000円、教育実習費11,000円（参考：2025年度）

④日本語教員養成課程修了を希望する場合（学芸学部在学生のみ対象）

日本語教員養成課程登録料3,000円、日本語教育実習費22,000円（参考：2025年度）

⑤英語英文学科の異文化コミュニケーション専攻（異文化コミュニケーションコース、Japan Studies in Englishコース）においては、海外での学修・異文化体験を推奨します。

その場合には別途費用がかかります。費用は、滞在地、滞在期間により異なりますが、200,000～600,000円程度の交通費・滞在費・保険料が必要になることが予想されます。

⑥多文化・国際協力量科に入学した場合

フィールドワークの費用はすべて各自が負担します。例えば、10日間くらいのフィールドワークを東南アジアで行う場合は150,000円程度、ヨーロッパで行う場合は300,000円程度の交通費・滞在費・保険料等が必要になることが予想されます。費用については、渡航先、為替レートなどにより変動しますので、あくまでも目安として参考にしてください。

私費外国人留学生の授業料減免措置について

私費外国人留学生は本学の正規課程に在籍する場合、所定の申請を行い、承認されると、当該年度の授業料の半額が免除されます。ただし、出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」の在留資格（年度途中に「家族滞在」等から「留学」に変わる場合を含む）を有する等の条件や、所定の経済的条件があります。申請する場合、入学後案内のある所定の期日までに、経理課に申請書類を提出してください。

外国人留学生対象の奨学金について（参考：2024年度）

大学の推薦を通して応募できる学外の給付奨学金として以下のような奨学金があります。

- ・平和中島財団外国人留学生奨学金
- ・共立国際交流奨学財団奨学金
- ・長谷川留学生奨学財団奨学金
- ・都築国際育英財団奨学金 他

※上記の他、「留学生受入れ促進プログラム予約制度（日本留学試験成績優秀者）」という制度があります。日本留学試験で優秀な成績を修め、日本の大学学部等に正規生として新規に入学予定の私費外国人留学生を対象とする制度です（大学院は対象外です）。本制度の詳細については日本学生支援機構のWebサイトをご確認ください。

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_j/shoreihi/yoyaku_eju/index.html

その他の奨学金については「津田塾大学ガイドブック 2026」を参照してください。

※応募資格等、詳細については本学国際センターまでお問合せください。（Tel. 042-342-5164）

高等教育の修学支援新制度（多子世帯支援・理工農系支援を含む）の対応について

本学は、文部科学省より「高等教育の修学支援新制度」の対象校として認定を受けております。また、数学科並びに情報科学科は理工農系学部・学科の対象機関として登録されております。

本学においては、入学金や授業料等は納付期限までに一旦納入していただきます。減免対象者には所定の手続きを経て、入学後に減免相当額を還付いたします。

個人情報の取り扱いについて

本学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人情報の取り扱いには十分な配慮をしております。今回、出願及び入学手続にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続と、これらに付随する事項を行うためのみに利用します。なお、出願受付、受験票の発送、合格通知書の発送などの業務を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託することがあります。

また、入学手続時にお知らせいただいた個人情報は「津田塾大学同窓会費積立金」に係る手続のため一般社団法人津田塾大学同窓会に提供させていただきます。

トランスジェンダー学生(性自認による女性)の出願について

津田塾大学では、2025 年 4 月に入学する学生が受験する入学試験より、女子大学で学ぶことを希望するトランスジェンダー学生(性自認による女性)にすべての学部、大学院研究科にて受験資格を認めることといたしました。

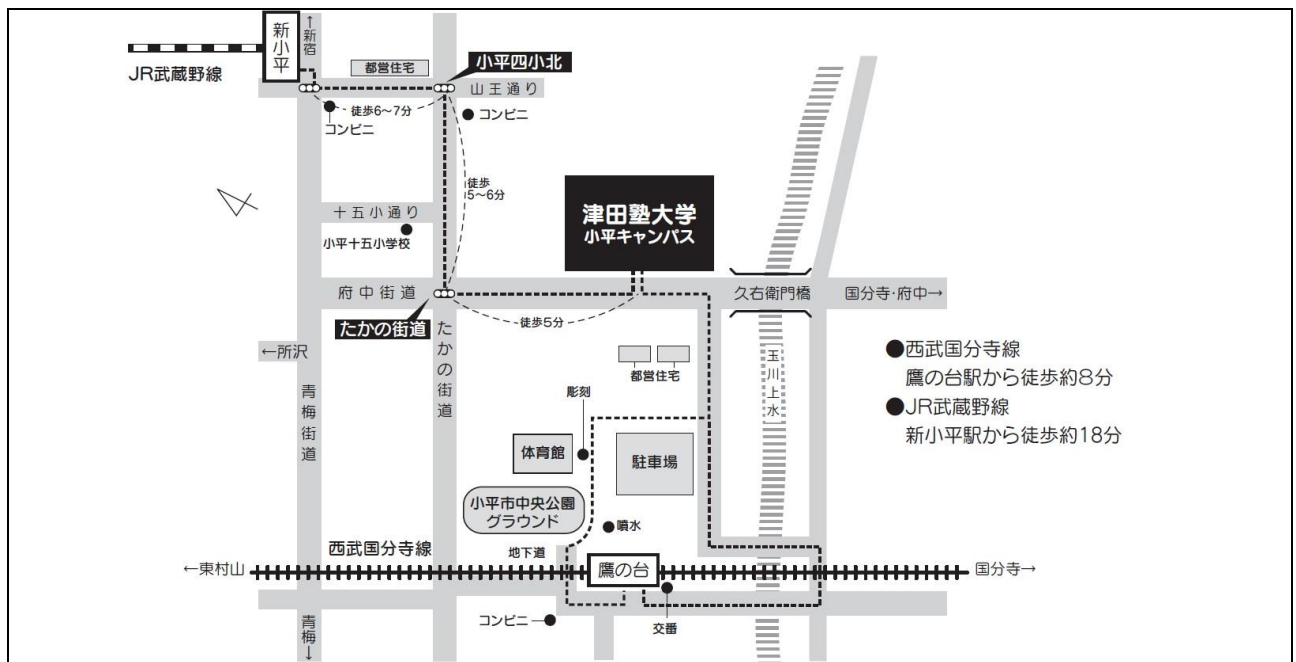
詳細については本学公式 Web サイトをご確認ください。

本学公式 Web サイト：https://www.tsuda.ac.jp/admissions/exam_transgender.html

小平キャンパスへの交通案内



- J R 中央線：国分寺駅で西武国分寺線に乗り換え、鷹の台駅下車、徒歩約8分。
(東京駅から大学まで乗り換え時間等を含め約65分)
- 西武新宿線：東村山駅で西武国分寺線に乗り換え、鷹の台駅下車、徒歩約8分。
(高田馬場駅から大学まで乗り換え時間等を含め約60分)
- 西武池袋線：所沢駅で西武新宿線に乗り換え、次の東村山駅で西武国分寺線に乗り換え、鷹の台駅下車、徒歩約8分。(池袋駅から大学まで乗り換え時間等を含め約60分)
- J R 武蔵野線：新小平駅下車、徒歩約18分。(武蔵浦和駅から大学まで約45分)



受験時の宿泊について

- ★本学では宿泊のご案内はいたしません。
津田塾大学生協 (TEL. 042-343-7073) または旅行会社等に直接お問合せください。
- ★宿泊地は JR 中央線沿線 (新宿～八王子) か、西武新宿線の沿線が比較的便利です。

津田塾大学 入試課

〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1

TEL : 042-342-5120

Email : nyushi@tsuda.ac.jp

<https://www.tsuda.ac.jp/>